

摂食嚥下障害ってなんだろう？？？



● 病気や老化などの原因により、噛んだり飲み込んだりすることが難しくなった状態を **嚥下（えんげ）障害**といいます。

● 主な症状として、以下の症状が挙げられます

食べる時にむせる
口の中に食べ物が残る
食べるのに時間がかかる
肺炎を繰り返す



● 日本人の死因の第3位は肺炎です。また肺炎が原因で亡くなる65歳以上の高齢者のうち、96%が誤嚥性肺炎という報告もあります。

食べることに問題(摂食嚥下障害)のある方はこの誤嚥性肺炎にかかりやすいといわれています。

早期に摂食嚥下障害を発見し、対処していくことで、誤嚥性肺炎を防ぐことはもちろん、生活の質を高めることができると考えられています。



摂食嚥下外来のご案内



● 75歳以上の方、過去に誤嚥性肺炎に罹患された方、摂食・嚥下障害の疑いのある方（食事の際のむせる・飲み込みづらいなど）は、是非 当院の摂食・嚥下外来をご受診ください。

★ 摂食嚥下外来で実施すること

① 医師とリハビリスタッフによる診察

② 栄養食事指導

③ 嚥下内視鏡検査（鼻から細いカメラを入れる検査）

また嚥下外来でより詳細な検査等が必要と判断された場合は、4日間の摂食嚥下入院をお勧めする場合があります。治療・検査に加え、食事・姿勢指導や介護者に対する知識の伝達など、より細やかに 患者様の食生活をサポートします。



摂食嚥下外来

火曜日 午後 13:00～14:00

（予約制）

連絡先 TEL 086-482-3031

（地域医療連携室）

